

市町村長特別セミナー ～自治体経営の課題～ 開講式（4月21日） 林学長あいさつ



林 省吾^{学長}

本年度最初の特別セミナーですが、年度初めのたいへんお忙しい中ご参加いただきましてありがとうございます。一泊二日という短いセミナーではありますが、有意義にお過ごしいただければと思っています。

ちょうど一週間目を迎えましたが、今日も熊本地方では余震が続き10万人を超える被災者の皆様は不安な時間を過ごしておられますが、地震による大きな被害を受けられ、今もなお厳しい状況の中で闘っておられるこの地域の皆様に、この場をお借りして、心から深甚なる弔意とお見舞いを申し上げさせていただきたいと思えます。

5年前の東北地方に次いで今回は思いもかけない九州地方での大地震ということで、この惨状をみながら、私だけでなく、多くの方が「次はどこか、またどこかで大地震が起きるのではないか」という思いで、不安にかられて緊張されているのではないかと思います。

この開講式でのごあいさつでも繰り返し申し上げていることですが、我が国は周期的に大災害に見舞われるという宿命を負った列島にあり、そして現在はその「大地動乱の時代」に入ったと言われておりますが、そういう認識を再確認しておかなければならないと改めて思っております。

地域の安心、安全の確保こそが市町村長さん達の最重要課題でありますので、いつ起きてもおかしくない大災害に備えて、自然災害は避けられないと諦めず、今一度地域の災害への備えに万全を

期していただきたいと思っております。

災害に限らず、近年は時代の大きな変わり目にあると考えておりますが、特に今年は、国内的にも国際的にも大きな変化に直面する年になるのではないかと注意して眺めております。

世界情勢を眺めておりますと、ご承知のように、中東地域における紛争は複雑な様相を呈して深刻度を深めておりますし、この地域からEUへの難民問題も、これまでの国境の概念を崩壊させてしまうようなインパクトをもった歴史的な事件になってきております。ギリシャに端を発した金融不安もぬぐい去れず、英国の動きに見られるようにEUの統合にも影響が及ぶ事態になってきております。

今日お招きしております山内昌之先生は、中東問題の第一人者ですが、中東地域の現状を調査されて、その現状を「中東複合危機」と分析し、宣戦布告もなく、国家と国家という形でもなく、プレモダン型の紛争がポストモダンの形で行われている現状をみて「第3次世界大戦」と命名し、終わりの見えないこの紛争の行方に危機感を募らせておられます。

東アジアにおいても朝鮮半島に緊張が走っていることは皆様ご承知のところではありますが、中国の動きからも目が離せません。このような中で、アメリカの大統領選挙の行方にも世界の注目が集まっております。

国内に目を転じましても、今なお復興過程にある東北地方に続いて今回の九州地方における大災

害の復旧・復興は今後の我が国の政治経済に大きな影響を及ぼすことになるでしょうし、異次元の金融緩和から始まりマイナス金利政策に至ったアベノミクスの効果も3年を経て評価される年になるでしょう。我が国の成長戦略の核と考えられているTPPの批准も先送りされそうですが、消費税の再増税も絡んで、今年是我が国の金融経済政策のあり方をめぐって議論が高まる年になると思われれます。

地方創生についても、地方団体の皆様が頑張っておられますが、私見ではありますが、地方の努力には限界があり、やはり国としての東京一極集中を是正しながら国土の均衡ある地域整備をめざす国土政策の展開が望まれるのではないかと考えております。

そして何より今年、安倍政権への信頼を問う参議院選挙が夏に予定されております。その前に伊勢志摩サミットも予定されておまして、今年はやはり東京オリンピックを見据えながらこれからの数十年の行方を決める重要な年になるような気がしておまして、今後国内外において起こる事態の変化から目が離せない年になると思っております。

このような状況を見て、山内昌之先生は「第3次世界大戦が始まっている」と言われていますし、前回の特別セミナーでご講演いただいた佐伯啓思先生は「これからは新しい価値観に立って日本らしい経済政策が必要だ」と主張されています。

また、私が親しくさせていただいております宗教哲學家の山折哲雄先生や鎌田東二先生は「現代は激動と混迷の乱世」とまで言っておられます。

このような大変厳しい激動ともいわれている中で地域の舵取りに責任を負っておられる市町村長の皆様方は、気の休まることのない毎日で、いつ起こるか分からない大災害への備えはもちろんのこととして、人口減少と少子・高齢化、経済の停滞というこれまでとは価値観も大きく異なる時代を迎えて、いかにしてこれからの地域の活力を維持し持続性を高めていくか、多くの課題を抱えて、ご苦勞の多い毎日をお過ごしのことと拝察いたしております。

私ども市町村アカデミーは、そのような市町村長様方が当面しておられる課題を的確に捉え、お役に立てるよう、新しい情報をお伝えしこれからの行財政運営の参考にさせていただけるよう、今後ともカリキュラムの充実に努めて参りますので、引き続きご支援とご協力をよろしく願いたします。

今日は、「地域創造」のご参加もいただきましてミニコンサートと、夕刻には情報・意見交換会も計画させていただきましたので、この機会に日頃のお疲れを癒していただき、鋭気を養ってお帰りいただきたいと思っております。そしてお帰りになられましたら、困難な時代ではありますが、地域の発展のために一層のご活躍をいただきますようお祈りいたしまして歓迎のご挨拶とさせていただきます。